

栃木県社会福祉士会会報



〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 発行 一般社団法人栃木県社会福祉士会
TEL 028-600-1725 発行責任者 松永千恵子
FAX 028-600-1730 編集責任者 福原 健治
ホームページアドレス <http://www.tochigi-csw.org/>

54号

発行日 令和2年7月20日

羅針盤



人々の幸せのために社会と共に

一般社団法人 栃木県社会福祉士会

会長 松永 千恵子



羅針盤	1
栃木県社会福祉士会 理事・監事紹介	2~4
一般社団法人栃木県社会福祉士会組織図	4
トピック	5
福祉士おもしろいだけリレー	6
授産製品・店舗紹介	6
今日の一冊	6
福祉士会通信	7
共同事務所6団体通信	8
栃木県社会福祉士会 メールマガジン登録のご案内	8
事務局からお願い	8
編集後記	8

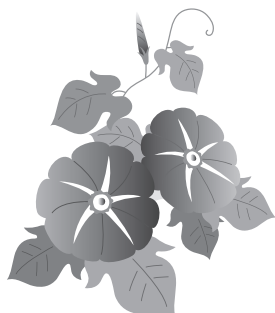
この度、2020年5月30日の第7回定時総会で会長に就任いたしました松永千恵子でございます。わたくしは、2018年5月まで4期副会長を務めさせていただきましたので、栃木県社会福祉士会の理事は再登板でございます。

今年の1月、中国で感染が始まった新型コロナウイルス感染症が、予想以上に未だ世界で猛威を振るっています。感染により罹患された方々にお見舞い申し上げますとともに亡くなられた方々、ご家族様関係者の皆様には心よりお悔やみ申し上げます。またここ栃木でも新型コロナウイルス感染症の影響により生活に支援が必要となっている方々のニュースが聞こえてきますが、それらの人々の命と生活を守るために日々奮闘してくださっている会員および他専門職の皆様には深く感謝と敬意を表します。

本会は2020年3月末で会員数507名を数え、県内では社会福祉における責任ある専門職団体としての地位が高まってきたと言えます。本会の事業は、栃木県庁様、市町様をはじめとする様々な機関への会員の委員の派遣、受託事業、受託研修、第三者評価事業、権利擁護の「ばあとなあとちぎ」、高齢者・障害者の虐待対応その他に日本社会福祉士会を中心に行っている基礎研修そして独自の研修と多岐に渡っています。私が副会長に就任した10年前と比較しますとその内容の多さ、濃さには驚きを禁じえません。現在の状況は、これまで本会の発展に寄与してくださった歴代会長をはじめとする役員の皆様、会員の皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げますとともに、この10年の社会の変化により「社会福祉士」の存在価値が高まり活躍する場が増えてきたということを実感しています。

しかし「社会福祉士」という専門職が社会福祉の業界では認知度が高まってきたとはいえ、一般の方々には今一つ馴染みのないものである点も否めません。新型コロナウイルス感染症関連のテレビニュースの中で、「〇〇区では・・・という専門職の方々が生活のご相談に乗ります」と報じていました。残念ながら「社会福祉士」がその専門職に入っていないことに気づき、「社会的地位の向上」により一層取り組む必要性を感じました。

今年6月、改正社会福祉法が成立し、地域包括ケアシステムの制度としてのスタートが明確になり、その制度の中に社会福祉士と精神保健福祉士が位置付けられました。私たち社会福祉士は、社会の変化に速やかに対応し、地域やそこで暮らす人々の幸福のために活動することが使命であります。会員の皆様のお力をお借りして、本会の益々の発展に取り組みたいと考えております。皆様のご支援とご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



栃木県社会福祉士会 理事・監事紹介

令和2年5月30日に行われた第7回定時総会にて、役員が改選されましたのでご紹介します。

掲載内容は、①氏名 ②ふりがな ③所属名称 ④職種名 ⑤マイブーム ⑥社会福祉士会役員になつての抱負

理事

- ①阿部 和史
- ②あべ かずふみ
- ③社会福祉士事務所さくら星の宮
- ④社会福祉士
- ⑤キックボクシング、ギター



- ⑥前期に引き続き、栃木県社会福祉士会の理事と権利擁護委員会の委員長をさせていただき事となりました。新型コロナウイルスの影響で、多くの権利擁護に関する問題が浮かび上がっています。すべては難しいですが、それらの課題に解決に少しでも力を尽くせるようみんなで意見を話し合い関わっていきたいと思います。

- ①阿部 千亜紀
- ②あべ ちあき
- ③壬生南地区地域包括支援センター
- ④社会福祉士
- ⑤『ブラックサンダーアイス』ザクザクして歯ごたえがたまらないです。



- 『鬼滅の刃』意思決定の視点から気になる作品です。

- ⑥今回2期目を務めさせていただきます。2年間活動させていただき、周りの景色が変わりました。

自分のことだけだったら出会えなかったであろう方々から、多くの学びをいただき、人生が動いた2年間でした。成年後見制度を必要とする方が利用できるように、栃木県社会福祉士会権利擁護センターばあととなとちぎの後見人等候補者を増やし、利用者に資する活動を受任者が継続してできるように取り組んでいく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

- ①小口 みほ子
- ②こぐち みほこ
- ③有限会社ふきのとう
- ④デイサービス施設長／介護支援専門員



- ⑤美術館めぐり。猫のモフモフに癒されます。キングダムにはまっています。

- ⑥今回2期目を務めさせていただきます。成年後見制度が、介護保険のように（認知症）高齢者にとってなくてはならない制度となり、必要な人が利用できるよう働きかけることができればと思います。微力ですが会員の皆様のお役に立てるよう尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。

- ①小澤 勇治
- ②おざわ ゆうじ
- ③とちぎボランティアネットワーク・フードバンクうつのみや
- ④相談員



- ⑤You Tubeで猫の動画を観ること
- ⑥2年間、理事会の一員として務めさせていただきます。以前は自分でものを考えて行動

することが上手くできなかった2年間でした。法人事業所を定年退職して町場のNPO法人の社会福祉士として存在感を出せるような活動を心掛けるつもりです。年齢と体調もあり不安ですが、理事の任を全うできるようふんばる所存です。

- ①篠崎 文男
- ②しのざき ふみお
- ③サポートセンター リバティ
- ④個人事業主
- ⑤国内旅行、サッカー観戦



- ⑥この度、当会の副会長を務めさせていただくことになりました篠崎文男です。昨年度から引き続きの副会長となります。当会には様々な業種で数多くの方が活躍されています。その方たちの意見を頂戴したく、今年度は会員の皆様にアンケート等を実施し、ご希望やご意見に沿えるよう活動していきたいと思っております。会員の皆さまには、指導ご鞭撻を賜りながら職務に励む所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

- ①富田 裕之
- ②とみた ひろゆき
- ③(社福)千成会 どんぐり亭
- ④管理者兼介護支援専門員
- ⑤フタバ食品のアイス「サクレコーラ」にハマっています。



- ⑥この度、理事を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。生涯研修センターを担当いたします。会員の皆様のために、2期目として更にお役立ちできるよう努力したいと思います。

- ①野尻 政彦
- ②のじり まさひこ
- ③一般社団法人 栃木県社会福祉士会事務局
- ④事務局長



- ⑤料理。親戚から野菜が届くので、無駄にしないよう冷凍保存しておいて、炒めものや煮物など常備菜を作っています。

- ⑥協議会の事務局長と連携して、共同事務所の事務の効率化を図ります。事業拡張、委員会活動の後方支援、会員定着、会員増のため、関係機関との連絡・調整、他県士会との交流、情報収集、情報発信を行っていきます。

- ①菱沼 勲
- ②ひしぬま いさお
- ③社会福祉法人善光会 相談支援センターさきり
- ④相談支援専門員
- ⑤ブルブル振動マシン（本当に痩せるか実験中）



- ⑥2期目の理事就任になります。微力ながら会の発展のため尽力したいと思いますので、よろしくお願いします。

- ①蛭田 真弓
②ひるた まゆみ
③国際医療福祉大学 医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科
④教員
⑤時短・簡単なレシピを調べて、週末にまとめて作り置きをすることです。
⑥今回2期目を務めさせていただくことになりました。生涯研修センターで主に実習指導者養成を担当いたします。1期目の2年間で学んだことやこれまでの活動の経験を活かして、県士会の発展に尽力したいと思っています。



- ①福原 健治
②ふくわら けんじ
③特別養護老人ホーム晴風園
④事務長
⑤今年度からRUN伴（認知症になっても安心して暮らせるための街づくり啓発イベント）で、那須塩原・大田原地エリア長として仲間づくりに励んでいます。
⑥理事として2期目となりますが、副会長という大役も仰せつかり、責任の重さを痛感しております。また、引き続き広報委員長として、ホームページ、メルマガ、広報誌等を通じて、本会の活動紹介や情報提供、会員・関係機関との情報交流促進にも貢献できるよう努力していきます。



- ①松永 千恵子
②まつなが ちえこ
③国際医療福祉大学 医療福祉学部
④教員
⑤カレーを食べること
とてもカレーを食べたくなる時があります。それも一週間に一度は必ず食べたくなります。そんな時は、町の中で見つけたカフェやレストランに直行（残念ながら、自分で作る暇はほとんどありません）。やっとありつけたカレーに満足し、お店を後にします。今はタイカレーに夢中です！
⑥社会情勢を鑑みながら、会員さんの利益となるような社会福祉士会の運営を心がけていきます。皆さん、栃木県社会福祉士会と一緒に盛り上げましょう。



- ①松本 広子
②まつもと ひろこ
③一般社団法人 南栃木社会福祉士事務所
④独立型社会福祉士
⑤公園ウォーキング
万歩計アプリで1日8000歩を目標に頑張っていますがなかなか到達できません。
⑥今年度から理事を拝命いたしました。同時に独立型社会福祉士としてもスタートしいささか緊張しています。社会福祉士会の高い公益性のもと広範囲な活動が求められます。



改めて知識の習得、勉強の必要性を感じています。災害福祉委員会に所属し、災害支援体制づくりにも関わらせて頂きます。世界がコロナ禍の真ただ中にある今、生活に困難を抱えている人への支援が急がれる課題です。駆け出し役員ですが皆さんの力をお借りしながら頑張ります。よろしくお願いいたします。

- ①松本 裕行
②まつもと ひろゆき
③OWL Tochigi LLC
④社会福祉士 兼 介護支援専門員
⑤問屋から仕入れたコーヒーの生豆を自家焙煎しています。
⑥理事として二期目となりました。権利擁護委員会ばあとなあに所属していますが、今期は他の委員会にも所属して当会を多面的に見ていきたいと思っております。何卒よろしくお願い致します。



外部理事

- ①石井 信行
②いしい のぶゆき
③至誠法律事務所
④弁護士
⑤高校に入学した長男と苦手な数学の問題を解くのを競うこと
⑥前回から引き続き理事を仰せつかりました。少しでも皆様のお役に立てるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



- ①高橋 昭彦
②たかはし あきひこ
③ひばりクリニック／認定特定非営利活動法人うりずん
④医師
⑤けんちん汁 三線
⑥在宅医療、家庭医療、医療的ケアが必要な子ども（医療的ケア児）などの地域支援を行う立場から、誰もが当たり前に暮らすことができる社会を目指して、一緒に活動していければと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



監事

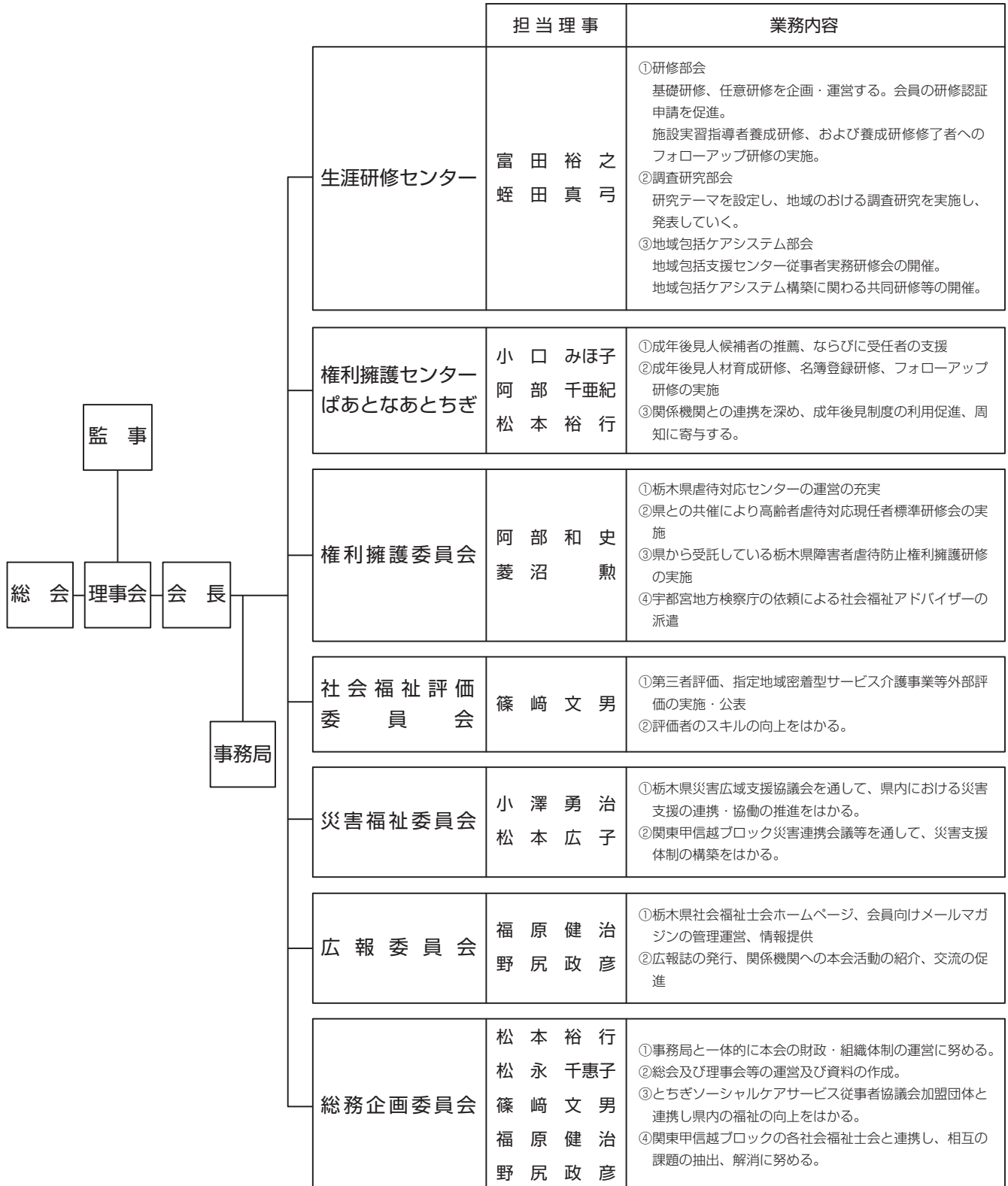
- ①池谷 友夫
②いけたい ともお
③東北福祉大学通信教育部
④非常勤講師
⑤大学で社会福祉を専攻し、登山もその時から続けて50年近くになります。10数年前に趣味が高じて、念願だった山岳ガイドの資格を取ることができました。この時は苦勞したこともあり、社会福祉士合格の時より嬉しかったです。社会福祉と登山、歴史的には接点があることをご存知でしょうか。今は、気の合う仲間とのんびりゆっくり登っています。
⑥会の役員等も長くやらせて頂きましたが、今度は監事という立場から会の運営をみていき、微力ですが県士会の発展に貢献できればと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



- ①渡辺 みゆき
②わたなべ みゆき
③栃木県ホームヘルパー協議会
④副会長
⑤ガーデニング
⑥引き続き今年度もよろしくお願
いいたします。



2020～21年度 一般社団法人 栃木県社会福祉士会 組織図



トピック『新型コロナウイルス関連の支援活動』

『新型コロナウイルス関連の支援活動』紹介

2020年4月1日に日本社会福祉士会会長から『新型コロナウイルス感染症に対する社会的弱者への支援について（提出版）』の声明文が公表されましたが、私たちソーシャルワーク専門職である社会福祉士は、さまざまな生活課題に取り組ませていただいております。今回は、その一部をご紹介します。

①「新型コロナウイルス感染症と生活困窮者支援」

栃木県北健康福祉センター

（高根沢町担当）星野 智枝

福祉事務所設置自治体が、直営または委託の形で実施されている「生活困窮者自立支援」。生活困窮者の尊厳を守りながら、あらゆる社会資源を駆使して自立支援を行っていきます。

感染拡大防止策の影響を真っ先に受けたのは、社会的弱者である母子世帯や外国人、非正規雇用の労働者などで、相談件数はこれまでの10倍にものぼりました。私もまた非正規雇用ですが、仕事があることへの感謝をしつつ、遅くまでの残業と、土日、GWもなく国から示される対応策に翻弄しました。思いがけない幸運は、これまで埋もれていた困窮者を把握するチャンスにもなったことです。決して十分ではありませんが、大胆な政策には、専門職だからこそ大胆に使いこなすことで、これまで支援からこぼれ落ちていた人にも、なんとか救いの手を届けたい一心でした。個人の責任とばかりに考えられがちな生活困窮。実は社会の抱える問題が、弱者を通して表れていることを、新型コロナ感染によって再認識をさせられました。

②「社会福祉協議会が実施している生活福祉資金貸付制度について」

足利市社会福祉協議会

地域福祉課 赤坂 誠

全国の市町村社会福祉協議会では、令和2年3月25日から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等により一時的又は継続的に収入が減少した世帯への緊急支援策として特例の貸付制度を実施しています。



元々、社会福祉協議会でやっている「生活福祉資金貸付制度」に、今回の特例制度2種類（総合支援資金（生活支援費）及び緊急小口資金）が追加されて生活困窮支援を実施しています。開始当初は令和2年7月末までの期間でしたが、長期的支援が必要と判断されたため9月末までに延長されました。足利市内だけでも7月1日現在で既に借入申込者が1,000人を超えています。

開始当初は個人事業主（観光業や飲食店など）や派遣社員が相談に見えていましたが、時間の経過とともに相談者も増加し、近頃は派遣社員で外国籍の方が多くなっています。

コロナ禍で先の見えない状況にありますが、息の長い支援が必要であり、生活困窮者のセーフティーネットとして貸付事業の重要性を日々実感しています。

③「フードバンクでの支援」

とちぎボランティアネットワーク・フードバンクうつのみや 小澤 勇治

フードバンク活動とは企業や家庭においてまだ賞味期限はあるけれど、様々な理由により捨ててしまう食べ物を寄付していただき、食品を困窮者へ無償で提供する活動です。フードバンクうつのみやでは、困窮から抜け出す生活再建の支援を行っています。小澤の主



な活動は社会福祉士としてできる困窮者支援です。新型コロナウイルス感染関連での生活困窮に陥ったフードバンク利用者が急増しています。2020年1月から6



月（6/25時点）までの新規利用者は254人でした（昨年同期は198人の128%）。そのうち何らかの形でコロナ関連での困窮が97人、全新規利用者の50.8%です。ちなみに4月は61人の利用中45人と73.8%に上りました。非正規労働、低年金問題など大きな社会問題が根底にあると思います。

栃木県社会福祉士会でも「フードドライブ」を立ち上げました。

「フードドライブ」とは、家庭などで食べきれない余っている食品を持ち寄り、施設、フードバンクなどに提供する活動のことですが、とちぎ福祉プラザ3階の共同事務所にボックスを用意しておきますので、研修会や会議で福祉プラザにお越しの際には、一品でも結構ですので、ぜひお持ちください。（受付時間 平日10:00～17:00）

なお、集まった食料品はフードバンクにお届けさせていただきます。

また、お持ちいただきたい食品例（お米、レトルト食品、缶詰、乾物、お菓子など）、NG食品例（野菜、水）となりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



福祉士 おもいのたけリレー

県内で活躍する社会福祉士が、実践への「おもいのたけ」を語っていくコーナーです。このコーナーは、リレー方式で次の社会福祉士につないで掲載していきます。

掲載内容：①氏名(ひらがな)、②所属、③趣味、④実践へのおもいのたけ

- ①榎本 賀津子 (えのもと かつこ)
- ②宇都宮市子ども家庭支援室 家庭相談員
- ③読書、裁縫
- ④私は埼玉県の小さな市の家庭児童相談員から福祉の仕事にスタートさせました。支援の現場が栃木県に移っても母子(父子)支援に携わっています。



子どもにどう向き合ったらよいのか悩んでいる保護者の方や、自分の気持ちに引きこもってしまった若者などの気持ちに寄り添い、困り感を丁寧に聞き取る中で、その人の思いの中にある

ものを一緒に見つけていく事が私に出来ることなのだと思います。

また、支援をしていくうえで心掛けているのは、虐待をしてしまう親御さんも、引きこもっている若者にも“Good”があるということです。話をしてくれたこと、会ってくれたこと、やれて当たり前ではなくやろうとしてくれた気持ちが“Good”なのだ伝えるようにしています。今まで出会ったすべての方々の“Good”に感謝をしたいと思います。

次は、足利市の児童養護施設泗水学園で、子どもたちのために日々奮闘されている海老沼恵子さんへバトンを渡します。

授産製品・店舗紹介

このコーナーでは、障害のある方々が作る授産製品や販売する店舗をご紹介します。

社会福祉法人ブローニュの森 ふれんどの森 あかみ工房
～たわなに実るブルーベリー～

住所：佐野市赤見町3248
電話：0283-25-4387

佐野市小中町、田中正造の生家のほど近くにブルーベリー畑が広がる。そこで働くのは、社会福祉法人ブローニュの森のあかみ工房(就労継続支援B型)に通所する10名のメンバー(利用者)と3名のスタッフ(職員)だ。



最初、農福連携の農作業受委託がきっかけとなりお互い関係性が深まる中で、農家も高齢により畑の管理が大変なため、約2年前からブローニュの森が畑の管理を相談され、現在はメンバーとスタッフが収穫、除草、バック詰め、納品、販売に従事している。作業は、納品の時間もあるため朝7時から始まる。収穫されたブルーベリーは、道の駅どまんかたぬまや近隣のスーパーなどに並び、売れ行きは好評とのこと。



メンバーの一人は、「朝起きて、今日はどれくらい獲れるか楽しみ。みんなで協力して収穫し、売れば自分たちの収入にもなる。皆さんに買っていただき、ぜひ食べてもらいたい。冷蔵保存すると長持ちしますよ。」と話してくれた。

ブルーベリーは、そのまま、あるいはジャム、デザートの一部になって食卓を彩るだろう。そんな想像をしながら撮影していると、レンズ越しに映るメンバーの一人が、農夫のようにたのしく見えた。

あかみ工房では、ブルーベリーの作業以外にも同法人の事業所と連携して、野菜畑での収穫、販売、契約した農家での農作業、企業の下請け作業などを行う。また、市内同法人の他の事業所では、就職の支援や喫茶店、弁当の仕出し、企業の下請け作業など行っている。(長)



今日の一冊

黒末憲子・小嶋章吾著

『医療・福祉の質が高まる生活支援記録法[F-SOAP]』

中央法規出版

本書を一言でいえば、「記録法のイノベーション」といえようか。従来、記録と言えは「だらだら」「接続語のオンパレード」「当事者の様子なのか、書き手の推測なのかわからない」。それゆえに、他人の記録を読むのも自分が記録を書くのも億劫になっていた。

本書は、記録アレルギーだった私に救いの手を差し伸べてくれた。

一番の印象は、記録が簡潔になるということだ。F(ニーズや気づき) S(利用者の言葉) O(観察や多職種から得られた情報) A(支援者の判断・解釈) I(支援者の対応) P(当面の対応予定)という6つの項目を用いて記述する。何を書こうか「だらだら」だったのが、必要な情報を先に思い浮かべて整理された記録になる。保健医療分野での記録といえはSOAPやF-DARがあるが、生活支援記録法(F-SOAP)は不足した項目を補い改良されている。記録に書かれる情報が足りて何が不足してるかも6つの記号を見ながら可視化されるので一目瞭然になる。

そういえば、本書はイラストや豊富なチャート式編集のため、どのページから読み始めてもわかりやすく、丁寧な説明が目に入ってくる。スモールステップを踏んだ演習もあり、理解をたやすくしている。生活支援記録法はヒヤリハット、苦情対応、サービス担当者会議など多様な活用場所があり、チームケアの質を高める一助となる。また専門職同士のケースの対応協議にも利用の場が開けている。ぜひ一読を。(社会福祉法人養徳園 片桐洋史)

(追記) ただいま、とちぎ福祉プラザ3階共同事務所にて、数量限定で2,400円(書店での購入価格は2,640円)で販売中。レターパック料金370円追加で郵送の対応もします。購入に関するお問い合わせは、とちぎソーシャルケアサービス共同事務所 電話028-600-1725



栃木県社会福祉士会のブロック会・委員会・PT(プロジェクトチーム)の活動を紹介する掲示板です。

福祉士会通信

社会福祉士の皆さま、日頃の実践の質を高めるため、福祉士同士の輪をつくるため、是非会活動に参加しましょう。福祉士以外の方におかれましては、ブロック会等で研修会等を企画しております。是非ご参加ください。

お問い合わせは、栃木県社会福祉士会までお願いします。

権利擁護委員会(阿部和史) 生涯研修センター(富田裕之) 社会福祉評価委員会(篠崎文男)
権利擁護センター(小口みほ子) 広報委員会(福原健治) 災害福祉委員会(小澤勇治) 県北ブロック(福原健治)

権利擁護委員会

阿部 和史

権利擁護委員会では、契約した市町の依頼に対して、弁護士とのチームでアドバイザーを派遣し、高齢者や障がい者の方への虐待の対応のアドバイスさせていただいています。また、県や市町からの依頼で高齢者や障がい者の方への虐待予防や対応の研修を行っています。ほかに宇都宮地方検察庁からの依頼で社会福祉アドバイザーを派遣し、疾病や障がい、社会的背景などがあるが故に軽犯罪を犯してしまった方に、面談を行い、福祉計画の作成などを行っています。

生涯研修センター

富田 裕之

- 研修部会(基礎研修・独自研修・実習指導者養成研修)
・基礎研修は、Ⅰ(集合研修を年間2回)、Ⅱ(同年間9回)、Ⅲ(同年間10回)開催しております。将来、成年後見人養成研修受講や、認定社会福祉士取得を目指す方にとっては必修となるため、20名以上の会員の皆様に受講いただいております。今後も、ソーシャルワークの専門職としての基礎を学ぶ研修として、研修内容の充実を図って参ります。
- ・独自(任意)研修は、栃木県士会独自の研修を企画・運営しています。1回目を、「アンガーマネジメントについて」と題して、栃木県社会福祉士会の事務局長の野尻政彦氏をお招きし、11月29日(日)に開催予定です。2回目はまだ企画段階ですが、会員の皆様に自己研鑽の機会の提供のために実施を検討しています。詳細が決まり次第ご案内いたします。皆様のご参加お待ちしております。
- ・実習指導者養成研修は、今年度はフォローアップ研修を11月に開催予定です。詳細が決まり次第ご案内いたします。こちらも皆様のご参加お待ちしております。

○調査研究部会

調査研究委員会では、「日光市における終末期在宅療養支援の現状と課題に関する調査研究」の調査研究を昨年度から行っております。今年度は研究成果をまとめ、皆様に報告できる予定となっております。ご期待ください。

○地域包括ケアシステム部会

地域包括ケアシステム部会は、隔月に委員会を開催し、実践現場で活躍できる人材育成のための取り組みを企画・運営しています。昨年度3月には、研修会を予定していましたが、新型コロナの影響で中止となってしまいました。今年度こそは開催できるよう準備していく予定です。

社会福祉評価委員会

篠崎 文男

当委員会は、第三者評価と外部評価の活動をしています。第三者評価は、福祉サービス事業所の提供するサービスの質に対して評価する事業です。対象事業所は、栃木県内の保育所や障がい者・高齢者の施設などです。外部評価は、認知症対応型グループホームを行う事業所に対して評価する事業です。どちらの評価活動も事業所の欠点を指摘するのではなく、事業所の努力・工夫している点を評価しています。今年度の受審状況は第三者評価が3件、外部評価が20件でコロナウイルスでの活動自粛の影響はなく、例年同様の活動となっております。

当委員会は委員を募集しております。共同事務局にお問い合わせください。

権利擁護センターばあとなあとちぎ 小口 みほ子

権利擁護センターばあとなあとちぎでは、今年度も、成年後見人材育成研修を開催します。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、Zoomなどを用いたWebでの実施も検討しております。

現在91名の成年後見人等候補者名簿登録者がおり、継続受任件数も214件と徐々に増加しており、後見人等候補者の育成が不可欠です。来年度も開催予定ですので、基礎研修Ⅲを修了した皆さんは是非受講してください。お待ちしております。

また、各市町社協法人後見運営委員会の委員を派遣したり、市民後見人養成講座等の講師を派遣したりと活動の幅が広がっております。

広報委員会

福原 健治

今回の会報作成にあたり、広報委員会の打ち合わせは、新型コロナウイルスの影響もあり、初めてオンラインで実施しましたが、委員が県内各地にいるため、宇都宮まで集まらずに出来る便利さを逆に体験することが出来ました。

今後、新しい生活様式への動きの中で、研修会もインターネットを活用してのe-ラーニングが増えておりますが、オンライン社会の中で広報委員会としても、今まで以上にインターネットを活用しての情報発信にも力を入れていきたいと思っております。

災害福祉委員会

小澤 勇治

今期より委員会として立ち上がりました災害福祉委員会の担当となりました。

昨年の台風19号は、栃木県内各地に大きな爪痕を残し、それに対する本会会員の活躍は記憶に新しいところです。自然災害、人為的事故も含め、災害はその起因する原因は様々ですが、昨日までの生活(生業)が瞬時に破壊されてしまいます。災害弱者とはと想像してみても、元通りの生活再建は、年齢、性別、疾病・障害、言語などなどソーシャルインクルージョンを実践しなければなりません。

災害福祉委員会は、県の災害福祉広域支援協議会の参加協力をもとに、会員のみなさんが日常の職場・生活においていざという災害時に、福祉専門職として力を発揮していただけるような情報提供や交流を行っていく予定です。

県北ブロック

福原 健治

まだ、新型コロナの緊急事態宣言が出る前の2月に、新年会を兼ねて那須塩原市の洋風居酒屋に20人が集まり、交流会を行いました。今回は、「オリンピック・パラリンピックイヤーにあたり社会福祉士の役割とは」というテーマで、それぞれの思いを熱く語り合いましたが、大会が1年延期となってしまい、支援の場が新型コロナ対応に代わってしまいました。

また、今年度の研修会も、学生や新人社会福祉士を中心に集まっていただき、県北で活躍している社会福祉士の実践を発表していただくシンポジウムを計画していましたが、こちらも延期となってしまいました。

早く、新型コロナが収束してくれることを願うばかりであります。



共同事務所 6団体通信

ソーシャルケアサービス共同事務所に所属している各団体の活動を紹介する掲示板です。

(今年度は、新型コロナの影響で活動が自粛されております。)

2020.8以降の研修、イベント情報

団 体 名	研 修 名 称	開 催 日
とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会	とちぎソーシャルケアサービス学会「ACPとは何か」(仮称)	2020.9.26
栃木県社会福祉士会	任意研修「アンガーマネジメント」(仮称)	2020.11.29
〃	相談援助実習 実習指導者フォローアップ研修	調整中
栃木県介護福祉士会	介護福祉士実習指導者講習会(全4日間)	2020.8～9
〃	サービス提供責任者初任者研修(全3日間)	調整中
〃	サービス提供責任者フォローアップ研修(全3日間)	調整中
栃木県精神保健福祉士会	未定	
栃木県医療社会事業協会	未定	
栃木県ホームヘルパー協議会	未定	

<栃木県社会福祉士会メールマガジン登録のご案内>

これまで、広報委員会で情報配信していたメルマガ【栃木県社会福祉士会「情報交流の場」】のレンタルサーバーが、昨年12月で終了してしまったため、配信先を変更させていただきました。今までご登録いただいていた方は、アドレスを移行させていただきましたが、今年になっても配信されていない方は、更新がされていない可能性があります。申し訳ありませんが再登録をお願いいたします。また、新たに配信をご希望の方も上記アドレスからご登録してください。

・新しいサーバーのアドレス

info@tochigi-csw.sakura.ne.jp

・件名に『メルマガ登録希望』というタイトルをつけて「氏名」、「会員番号」、「受信用のメールアドレス」を、メールにて送信してください。

事務局からお願い

氏名・住所・勤務先・会費の自動振替口座等を変更される場合は、必ず所定の変更届を提出してください。また、口座の変更には、口座振替依頼書が必要です。

変更届等は、事務局(電話：028-600-1725)へご依頼ください。ただいま、ホームページから「変更届」をダウンロードできるよう準備中です。

【会報についてのご意見や投稿を募集しております!】

取り上げて欲しい内容や会報の感想、また掲載して欲しい投稿をお寄せください。

ご意見や投稿には、「会報の意見」とタイトルをつけて、事務局までFAX(028-600-1730)でお送りください。差し支えなければ、氏名、連絡先をご記入ください。匿名でも結構です。

皆様の貴重なご意見を会報作りの参考にさせていただきます。

編集後記

コロナ禍において、医療・福祉の現場ではソーシャルワーカーが対応すべきニーズが増大しており、事態を乗り越えるべく奮闘されていると思います。養成教育においても、実習を含め、内容や方法に再構築が必要となっています。

私達は各々の立場で、ソーシャルワーカーがすべきこと、できることを模索しています。これが今後のソーシャルワークの新たな展開につながると信じています。

(広報委員 山口)